



## 卒業献血が行われました

期末テストも終わって師走を目前に控えた11月29日(水)、3年生の卒業献血が行われました。



献血は病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供する、誰でもできるボランティアです。今回も63名が受付、46名が献血を行いました。

これだけ科学技術が進んだ現代でも、血液だけは人工的に作り出すことはできず、献血の協力がなければ命を救うことができません。若い時に献血の経験があると、生涯献血率が向上するというデータもあります。



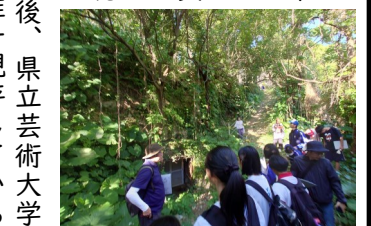
沖縄県赤十字血液センターの皆さま始め、企画から調整まで担当した三学年主任の宮里先生ありがとうございました。

## 第32軍司令壕フィールドワーク



沖縄戦の一丁目一番地といえる第32軍壕が戦争遺跡の継承として保存・整備されることを期待します。ガイドの仲村真先生始め、県女性力・平和推進課並びに関係者の皆さま、貴重な機会ありがとうございます。

沖縄戦を指揮した日本軍の拠点・第32軍司令壕の保存・公開に向け、県が行っているフィールドワークの一環として、11月23日(木)に、首里高校を対象としたフィールドワークが行われ、生徒・職員14名が参加しました。



## 認知症サポーター養成講座

首里高校でも11月30日(木)に養成講座が行われ、20名を超える生徒が参加し、認知症についての理解を深める講義や高齢者体験がありました。



認知症とは記憶や判断などの認知機能が低下し、現在国内では約630万人の患者がいます。認知症に対する正しい知識を持ち、認知症の方や家族を見守り支援する役割を担うのが認知症サポーターで、延べ約1400万人の方が登録されています。



## 緑化作業頑張りました

校舎改築中の首里高校は、並行して緑化整備も進めています。秋も深まった11月30日(木)に各クラスの美化委員が中心となって緑化作業を行いました。



サンダンカの写真(沖縄県農林水産部森林資源研究センターホームページより)

今回は東教室棟の花壇に、沖縄三大名花の一つで、昔から庭園樹として栽培されているサンダンカを植えました。当日は曇り空で風も強い中、一生懸命作業を行ってくれました。

来年の春にはきれいな花が登校した生徒を迎えてくれると思います。担当の嶺井先生始め美化委員、事務部の皆さんありがとうございました。

